



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5992 URL <http://www.chkk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高江 暁
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 北野 和彦 (TEL) 052-624-8539
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	19,915	△1.2	578	4.7	997	30.5	705	50.0
30年3月期第1四半期	20,160	3.8	552	75.6	764	—	470	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 998百万円(97.5%) 30年3月期第1四半期 505百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	112.67	—
30年3月期第1四半期	75.09	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	87,467	59,067	63.2
30年3月期	87,851	58,562	62.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 55,321百万円 30年3月期 54,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	4.00	—	60.00	—
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は100円となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	△2.3	1,100	△5.4	1,200	△6.4	700	△0.1	111.76
通期	81,000	△3.2	3,400	1.2	3,500	4.5	2,250	7.7	359.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	6,385,599株	30年3月期	6,385,599株
31年3月期1Q	122,448株	30年3月期	122,026株
31年3月期1Q	6,263,357株	30年3月期1Q	6,265,461株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内売上高は、6月に発生した大阪府北部地震により、一部客先への納入が滞ったものの、売上高全体への影響はほとんど無く、前年同四半期とほぼ同額となりました。

海外売上高は、中国でセダンの売れ行きが好調だったものの、北米のコントロールケーブルの需要減少、及びインドネシアのルピア安と鋼材価格の値上げにより、海外拠点全体では売上高が減少いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ2億4千4百万円減収（前年同四半期比1.2%減）の199億1千5百万円となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が、前年同四半期に比べ2千5百万円増益（同4.7%増）の5億7千8百万円、経常利益は為替差損益の影響により、9億9千7百万円となり（同30.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5百万円となりました（同50.0%増）。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

[日本]

売上高149億2千6百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益7億2千7百万円（同33.6%増）となりました。

[北米]

売上高21億3千4百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益38万円（同99.7%減）となりました。

[中国]

売上高19億4千1百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益1億8千9百万円（同63.5%増）となりました。

[アジア]

売上高23億9千6百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益4千2百万円（同66.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は375億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億8千9百万円減少（3.6%減）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（9億9千7百万円）と現金及び預金の減少（2億8千6百万円）によるものであります。固定資産は499億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5百万円増加（2.1%増）いたしました。これは主に投資有価証券の増加（11億円）によるものであります。

この結果、総資産は874億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千3百万円減少（0.4%減）いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は212億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千5百万円減少（3.0%減）いたしました。これは主に賞与引当金の減少（7億6千4百万円）と電子記録債務の減少（6億4千1百万円）、未払金の減少（4億3千9百万円）及び未払費用の増加（16億4百万円）によるものであります。固定負債は71億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千2百万円減少（3.1%減）いたしました。これは主にリース債務の減少（8千8百万円）と繰延税金負債の減少（8千1百万円）によるものであります。

この結果、負債合計は、284億円となり、前連結会計年度末に比べ8億8千8百万円減少（3.0%減）いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は590億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億4百万円増加（0.9%増）いたしました。これは主に利益剰余金の増加（3億2千9百万円）とその他有価証券評価差額金の増加（3億1千4百万円）によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.2%（前連結会計年度末は62.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月26日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成31年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,666,718	14,380,267
受取手形及び売掛金	13,022,993	12,025,900
電子記録債権	2,687,125	2,499,312
商品及び製品	2,136,086	2,006,631
仕掛品	1,193,440	1,362,602
原材料及び貯蔵品	4,197,163	4,248,916
未収入金	387,217	358,764
その他	675,816	697,247
貸倒引当金	△11,718	△14,115
流動資産合計	38,954,844	37,565,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,141,673	29,185,970
減価償却累計額	△22,043,641	△22,202,152
建物及び構築物（純額）	7,098,032	6,983,818
機械装置及び運搬具	59,764,013	60,253,225
減価償却累計額	△50,356,293	△50,812,169
機械装置及び運搬具（純額）	9,407,720	9,441,056
土地	9,266,166	9,254,859
建設仮勘定	1,675,173	1,478,259
その他	9,517,174	9,582,641
減価償却累計額	△8,568,157	△8,619,829
その他（純額）	949,016	962,812
有形固定資産合計	28,396,109	28,120,805
無形固定資産		
のれん	8,002	6,401
その他	317,092	319,729
無形固定資産合計	325,094	326,131
投資その他の資産		
投資有価証券	17,495,152	18,595,795
長期前払費用	434,447	428,669
繰延税金資産	394,849	394,259
退職給付に係る資産	1,624,477	1,810,376
その他	293,979	294,490
貸倒引当金	△67,918	△68,401
投資その他の資産合計	20,174,988	21,455,190
固定資産合計	48,896,192	49,902,126
資産合計	87,851,036	87,467,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,186,527	7,766,465
電子記録債務	2,497,794	1,855,901
短期借入金	1,138,794	994,763
1年内返済予定の長期借入金	4,556,207	4,555,410
リース債務	451,117	446,933
未払金	730,658	291,262
未払費用	1,615,842	3,220,098
未払法人税等	296,574	383,238
賞与引当金	1,574,451	810,332
役員賞与引当金	79,169	20,543
製品保証引当金	21,534	22,430
その他	736,440	862,273
流動負債合計	21,885,113	21,229,656
固定負債		
長期借入金	357,562	342,893
リース債務	593,243	504,280
繰延税金負債	4,464,874	4,383,609
役員退職慰労引当金	277,070	250,065
退職給付に係る負債	1,470,349	1,440,484
資産除去債務	123,155	123,860
その他	117,115	125,451
固定負債合計	7,403,371	7,170,645
負債合計	29,288,484	28,400,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,038,654	11,039,507
利益剰余金	23,647,063	23,976,917
自己株式	△572,950	△574,504
株主資本合計	44,949,975	45,279,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,848,346	11,162,734
為替換算調整勘定	△697,345	△749,628
退職給付に係る調整累計額	△370,117	△370,319
その他の包括利益累計額合計	9,780,883	10,042,785
非支配株主持分	3,831,692	3,745,438
純資産合計	58,562,551	59,067,353
負債純資産合計	87,851,036	87,467,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	20,160,506	19,915,738
売上原価	17,548,039	17,223,773
売上総利益	2,612,466	2,691,964
販売費及び一般管理費	2,059,560	2,113,068
営業利益	552,906	578,895
営業外収益		
受取利息	3,474	3,987
受取配当金	275,848	297,219
為替差益	—	133,624
その他	22,615	24,366
営業外収益合計	301,938	459,198
営業外費用		
支払利息	39,768	24,142
為替差損	24,107	—
その他	26,727	16,677
営業外費用合計	90,604	40,820
経常利益	764,240	997,273
特別損失		
固定資産除売却損	1,247	—
減損損失	44	—
特別損失合計	1,292	—
税金等調整前四半期純利益	762,948	997,273
法人税、住民税及び事業税	340,673	450,431
法人税等調整額	△71,887	△215,055
法人税等合計	268,786	235,375
四半期純利益	494,162	761,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,700	56,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	470,461	705,667

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	494,162	761,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134,441	315,166
為替換算調整勘定	124,925	△78,954
退職給付に係る調整額	20,956	348
その他の包括利益合計	11,440	236,559
四半期包括利益	505,602	998,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,439	967,569
非支配株主に係る四半期包括利益	62,163	30,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,119,901	2,418,996	1,397,871	2,223,736	20,160,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	820,861	4	314,669	289,779	1,425,314
計	14,940,763	2,419,001	1,712,541	2,513,515	21,585,820
セグメント利益	544,714	119,164	116,162	125,656	905,698

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	905,698
未実現利益の消去等	13,265
全社費用(注)	△366,056
四半期連結損益計算書の営業利益	552,906

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,069,033	2,134,697	1,573,828	2,138,178	19,915,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	857,816	46	367,202	258,161	1,483,227
計	14,926,850	2,134,743	1,941,031	2,396,339	21,398,965
セグメント利益	727,786	387	189,899	42,182	960,256

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

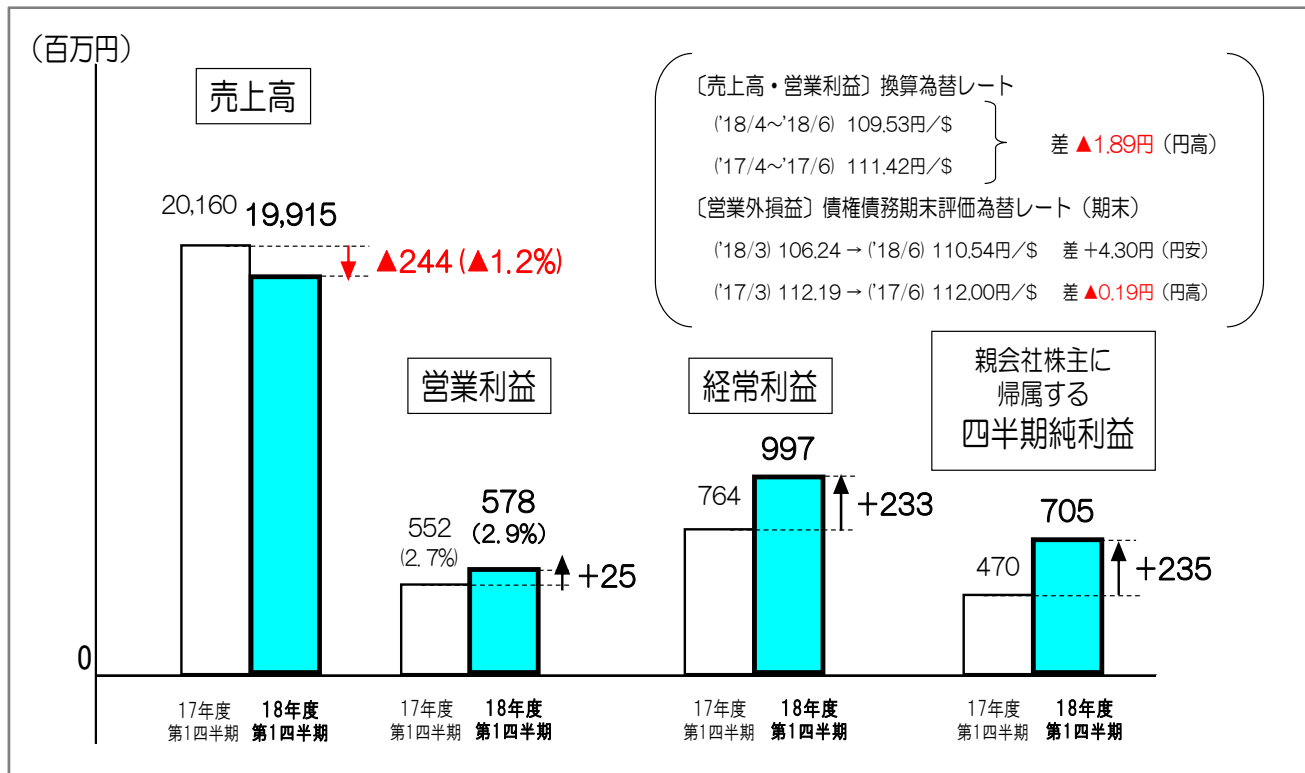
(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	960,256
未実現利益の消去等	2,925
全社費用(注)	△384,286
四半期連結損益計算書の営業利益	578,895

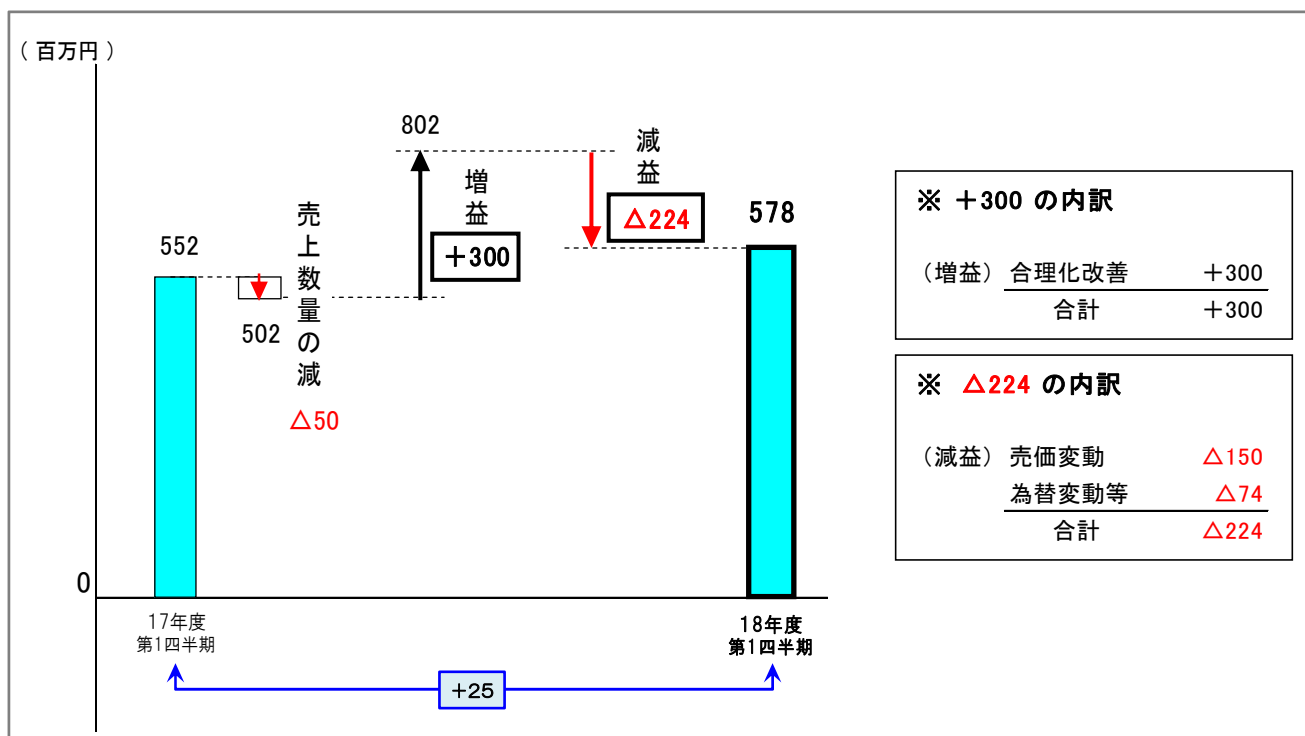
(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

（金額単位：百万円、単位未満切捨て）

（1）連結決算の状況

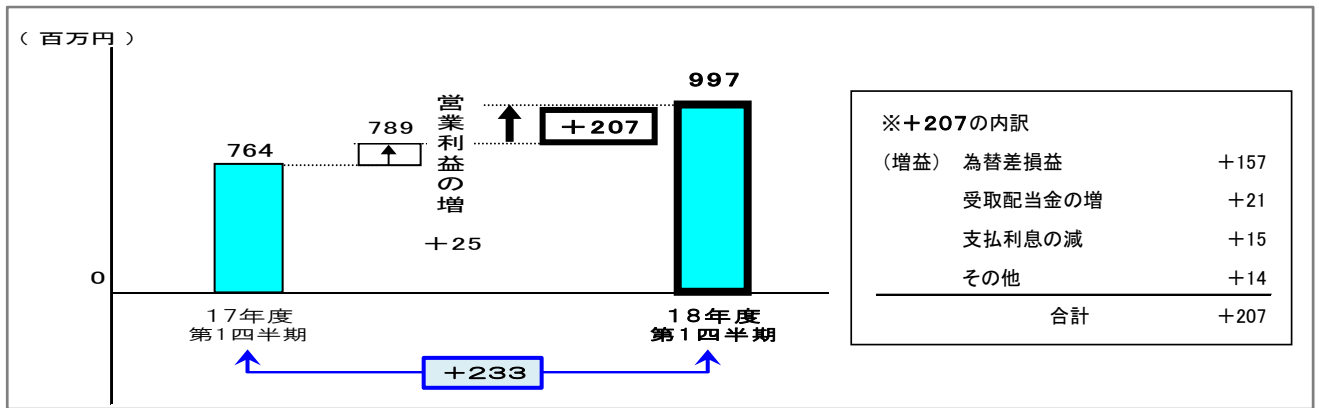


（2）営業利益の増減要因

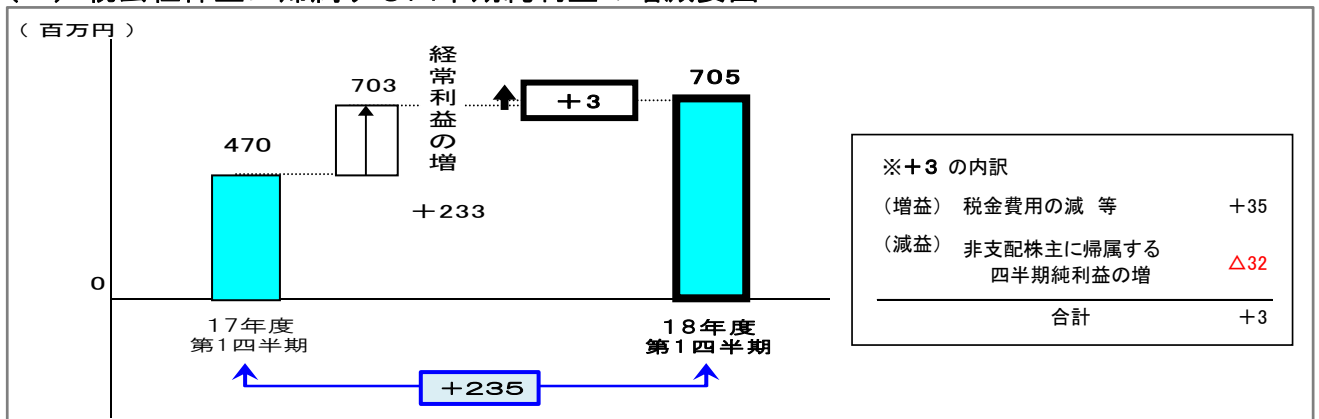


(金額単位：百万円、単位未満切捨て)

(3) 経常利益の増減要因



(4) 親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



(5) 連結の範囲

連結子会社数 21社 (海外11社、国内10社)

(6) 連結財政状態

(百万円)

	当第1四半期末	前期末	増減
総資産	87,467	87,851	△383
純資産	59,067	58,562	+504
自己資本比率(%)	63.2	62.3	+0.9ポイント

(7) 製品別売上高

(百万円)

	当第1四半期		前第1四半期		増減	
シャシばね	6,431	(32.3)	6,674	(33.1)	△243	(△3.6)
精密ばね	5,409	(27.2)	5,068	(25.1)	+340	(+6.7)
ケーブル	4,687	(23.5)	4,950	(24.6)	△263	(△5.3)
その他	3,387	(17.0)	3,466	(17.2)	△78	(△2.3)
合計	19,915	(100.0)	20,160	(100.0)	△244	(△1.2)

(8) 設備投資実績(有形固定資産)

(百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前期
設備投資額	577	443	2,801
減価償却費	750	787	3,336

(9) 平成31年3月期の連結業績予想

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	39,500	△2.3	1,100	△5.4	1,200	△6.4	700	△0.1	111.76
通期	81,000	△3.2	3,400	1.2	3,500	4.5	2,250	7.7	359.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有